



兵協連だより

HYOGO CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

2014 **2**



1月11日(土)、兵庫県民会館（神戸市中央区）において、「第9回 新春トップセミナー・賀詞交換会」を開催。会員生協・団体の役職員、組合員など53名が参加しました。新春トップセミナーでは、日本銀行 神戸支店 鎌村 健氏より「最近の金融・経済情勢～混迷する現代経済と社会的厚生～」について講演いただきました。（関連ページP.3）



生活クラブ生活協同組合都市生活
理事長

山下 尚子

(やました・しょうこ)

わたしの2014年

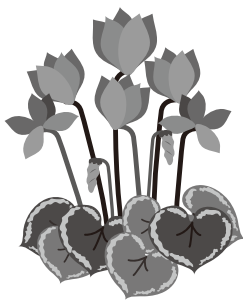
2014年も立春を迎える頃となりました。皆さんは、今年をどんな年になると予想されているでしょうか。まもなくソチオリンピックが開催され、6月にはFIFAワールドカップがブラジルで開催されるなど、スポーツ好きには楽しみの尽きない年です。

主婦の私が気になるのはやはり、4月1日の消費税UP。思えば、長男が生まれた1989年の4月、消費税法が施行され消費税が導入されました。導入前、3%の消費税で生活費の支出がどれだけ増えるか、割り切れない数字に世間が大騒ぎしていた記憶があります。3月に生まれた長男の出産費に消費税が掛らなかつたのをラッキーに思ったものでした。今回、消費税率は8%に引き上げられますが、初めて導入されたときに比べれば、国民の反応にもどことなく落ち着いたものがあるように思います。国による社会保障制度の不充分さを実感してか、諸外国の税率の高さを知ってか。それとも単に消費税に対する慣れでしょうか。

私が生協に加入したのは結婚して直ぐでした。子どもが生まれると食の安全に対する意識が強くなり、子どもの未来を思った時に環境を意識するようになりました。「生活協同組合」が、くらしをより良いものに変えたいという組合員の願い、要求を「協

同」によって実現しようとする組織であることを学んでからは、組合員活動で何かを實現できたらと考えるようになりました。日常生活において地域で助け合う相互扶助の必要が望まれる今、生協の果たす役割が大きいことも感じていきます。

生活クラブ都市生活は昨年から、中期計画の柱に「食育」を掲げ活動しています。内閣府は「食育」を国民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むことができるようにするための重要なテーマとしています。からだも暮らしも「食」によつて育まれます。バランスよく食べることで健康なからだを養われ、暮らしに豊かさがあります。なにを食べるか、どんなふうに食べるか、そんな健康な食べ方提案「ジオサポ（生活クラブの造語）」を進め、組合員が自発的に「食育」を實踐できるような活動を広げていきたいと思えます。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



CONTENTS

2. 想点
3. 新春トップセミナー・賀詞交換会 開催報告
4. 単協通信 生活協同組合コープこうべ/
たじま医療生活協同組合
5. 単協通信 神戸市民生活協同組合/
近畿労働金庫兵庫地区統括本部

6. 協同組合のかけ橋
7. 兵庫県のページ
8. 「兵協連だより」通信員・広報担当者研修会のご案内/
「ひょうご消費者セミナー2013」のご案内
県連日誌／編集後記

新春トップセミナー・ 賀詞交換会を開催

1月11日(土)、兵庫県民会館において今回で9回目の開催となる「新春トップセミナー・賀詞交換会」を開催しました。当日のセミナーでは、兵庫県から4名の方々をお迎えしました。また、会員生協の理事長・理事・監事、共栄火災海上保険株式会社神戸支店長をはじめ、のべ53名の参加をいただき、新年の決意を新たにすることができました。

新春トップセミナーでは、本田英一 会長理事の開会挨拶に続き、兵庫県健康福祉部生活消費局 柳瀬厚子 局長よりご挨拶いただきました。その後、日本銀行 神戸支店 支店長 鉢村 健 氏を講師に迎え「最近の金融・経済情勢～混迷する現代経済と社会的厚生」と題して講演いただきました。

賀川豊彦の紹介から始まり、「少子高齢化で人口構造が劇的に変化するため、これからの時代は新しい技術・考え方が出現しなければ経済を保つのは難しい。新しい考え方とは、たとえば『心の豊かさ』を社会全体で追及することであり、生活協同組合の果たすべき役割も大きいのではないか」と結ばれました。会場ではメモを取りながら熱心に聞き入る参加者の姿が見られました。

その後、開催された賀詞交換会には、兵庫県の消費者行政のご担当の方々にもご参加いただき、本田英一 会長理事の挨拶に続き、ご来賓を代表して兵庫県副知事 金澤和夫 様から「地域のつながりによって支えられていくことの大切さを感じ、社会のあり方の根っこを強くしていく生協の発展に期待しています」とご挨拶いただき、引き続き乾杯のご発声で賑やかに会がスタートしました。日頃からお世話になっている行政の皆様と会員生協・団体の皆様、それぞれに賀詞交換を通じて交流を深めました。



講演される
日本銀行 鉢村健 氏



挨拶される
兵庫県 柳瀬厚子 局長

新春賀詞交換会

主催 兵庫県生活協同組合連合会



挨拶される金澤和夫 兵庫県副知事

2013年度「兵庫県生協連・第9回初級経理学校」を開催



講義される三宅充氏

今年で9回目となる経理学校は、会員生協の経理担当者の人材育成をめざして、生協の経理実務を基礎から学ぶことを目的に行われています。今回も MM コンサルティング・三宅充氏を講師に迎え1月16日(木)～17日(金)、1月21(火)～23日(木)の延べ5日間の講義に、会員生協と関連会社、あわせて10名が受講しました。

5日間にわたる講義では、日本生協連発行『入門 生協の経理実務～伝票式会計』をテキストに、生協簿記を基礎知識から学びました。取引や仕訳の仕組みを理解し、最終的には決算書類である貸借対照表・損益計算書の作成が出来るようになることが目標です。実際に仕訳伝票を使用しながら演習問題などを繰り返し、時間をかけて丁寧に進められました。講義を熱心に聞き入り、演習問題に取り組む姿が見られたほか、受講生が互いに教え合い理解を深める場面もありました。そして最終日には、講師の三宅 充氏から「第9回初級経理学校修了証」が受講者一人ひとりに手渡され、拍手のなか全員が無事に修了証書を受け取りました。

受講者からは、「生協、株式会社の場合など、具体例を挙げながら説明していただいたので分かりやすかった」「経理を学ぶことが仕事でどう生きてくるのかなど、経理実務以上のものを学びました」などの感想が寄せられ経理実務についての第一歩を刻みました。



全員で修了証書を受け取りました

生活協同組合コープこうべ

子育て支援事業（学童保育）

「Terakoya」をスタート

コープこうべは学童保育の新事業「子育て支援事業『Terakoya』」をスタートします。コンセプトは、「親の安心を大切に」「子どもが主役の成長の場に」「地域の絆を大切に」の3つ。週1日から5日、小学生を預かり、宿題に取り組み学習時間やおやつ、遊びの時間をとってより良い生活習慣を身につけます。コープこうべが培ってきた子育て支援のメニューをプログラムに組み入れるなど、生協ならではの事業として展開していきます。



1月11日(土)、東灘校（コープこうべ健康会館内）で、利用希望者に向けた見学会を行い、53組の親子が参加しました。冒頭の事業説明では、保護者が内容や料金の説明を熱心に聞き、「夏休みだけ利用できるか」「駅まで迎えに来てもらえないか」など、多くの質問が出されました。中には、1年先を見越して説明会に参加した保護者もいらして、学童保育がいかに大きな社会的な困りごとであるかが垣間見えました。

一方、子どもたちはお絵かき、読書、ドミノや将棋などで遊んだり、昼食やおやつを試食するなど一足早く体験。「早く来たいな」「先生には春から会えるの」など、楽しみにしている様子でした。

当日は、記者会見も行い、新聞社が4社参加しました。

（通信員 榎原暁子）

たじま医療生活協同組合

年末恒例もちつき大会

12月27日(金)豊岡市日高町にある但馬高教組会館前で、毎年恒例の「日高支部もちつき大会」が行われ、小雪が舞う中、子ども4人を含む17人が参加しました。餅つき機ではなく杵と臼でつくので、つき手は気合十分で臨みました。用意された14臼分のもち米は次々とつき上がり、丸めた小餅は約1,000個になりました。最初は上手に丸くできなかつた



丸めながら食べるのが最高！



子どもたちも、慣れてきてきれいな形になると、楽しんで、そうに丸めていました。できたの

あつあつをあんこ、きなこ、大根おろしで早速試食すると、「やっぱりつきたては最高」という声が上がりました。参加した外国の方は、「お餅大好き。毎日でも食べられるよ」と、箸が進んでいました。できたお餅は、その日のうちに支部の独居の組合員さんに届けられました。受取られた方は「毎年楽しみにしています。いいお正月が迎えられるます」と、喜んでおられました。支部の方は「これからも、地域のつながりを強めるための一環として続けていきたい」と、来年に向けて決意されていました。

（通信員 春木圭介）

「垂水商店街」で事業を紹介

平成25年12月20日(金)、垂水駅前のレストラン広場にて、垂水商店街振興組合主催、多可郡多可町共催の「多可町フェア」にて、「共済相談会」を実施しました。垂水商店街は垂水センター街など5つの商店街で構成されており、加盟店は約110店舗という大きな商店街です。このイベントは多可町とのフレンドシップ提携10周年を記念して開催され、多可町の各種特産品の販売やお餅つき、芸人さんによるお店紹介など様々な



あたたかいコーヒーで憩いのひととき

イベントが行われました。当日は神戸市民生活協の医療共済・火災共済・交通災害共済・こども共済を紹介した総合パンフレットやティッシュを配布しました。また、コーヒーの無料試飲やキャンディーのすくいどりをを行うなど、より親しみやすい広報活動を行いました。晴天ながら寒い日だったこともあり、市民の方々には温かいコーヒーがたいへん好評でした。また、「こども共済はお手頃ですね」、「火災共済の内容について教えてください」など、たくさんのお声掛けをいただきました。今後もこういった地域のイベントに参加することで、地域に根差した組合としての活動を広げていきたいと思えます。

(通信員 鹿田裕子)

生協・ろうきん間の連携強化に向けて 組合員の豊かな生活のために 組合員の豊かな生活のために

2012年の国際協同組合年を契機として、近畿ろうきん兵庫地区では組合員の豊かな生活と、よりよい社会の構築という協同組合組織の共通理念のもと、兵庫県下の地域購買生協さんとの連携を強化していきます。具体的には生協さんとうろうきん間で①生協組合員のろうきん融資利用の覚書の交換、②生協組合員向けろうきん情報誌「こもんず」の個配や生協店舗への備付などの取り組みを進めています。

「こもんず」の表紙部分と裏表紙(KC's)の部分の抜粋です

これらの取り組みは連携の第一歩です。今後も協同組合が掲げる共通の理念・目的に向け、さらなる連携を進めてまいります。
(通信員 森下晃司)



2012国際協同組合年の取り組みを冊子にまとめました

育ローンのご利用者も増加しています。また、情報誌「こもんず」では、それら融資制度のご案内のみならず「NPO法人消費者支援機構関西」(略称KC's) 監修の消費者教育に関する記事も掲載しています。「こもんず」を単なるろうきんのPR媒体として位置づけるのではなく、KC'sの取り組みのご紹介を通じて協同組合運動推進の一翼を担う構成にしています。

協同組合のかけ橋

JF (一財)兵庫県水産振興基金

農林水産省近畿農政局 神戸地域センターによる モニター交流会で意見交換



農林水産省では、生産者、流通加工業者および消費者と行政担当者の情報交流が可能となる人的ネットワークを構築し、活発な情報交流活動を行っています。11月29日(金)には、同省近畿農政局神戸地域センター主催による「平成25年度 農林水産情報交流ネットワーク事業 モニター交流会」が水産会館で行われ、訪れた10名のモニターとJF関係者が水産業をテーマに活発な意見交換を行いました。

交流会は、料理教室体験、講演、意見交換の3部構成で行われました。まず、JF兵庫漁連シートクラブが普段実施している料理教室を参加者が体験し、アジの捌き、調理を行いました。昼食後には「漁業が果たす役割～漁師は海の防人～」と題した講演があり、講師のJF明石浦 戎本 裕明組合長は、明石市をはじめ日本の水産業の現状を説明した後、また「きれいな海は豊かな海か？」と題し瀬戸内海の海況の現状や漁業者の取り組みを話したうえで、漁業者が担っている役割としての「3つの防人」(食糧安保、国境監視、環境保全)を紹介されました。意見交換では、モニターから「水産物をはじめとして海と繋がりを持ってたら良い」、「海の栄養塩不足は全国的なものか」などの感想や質問のほか、「魚の名前は知っているが、泳いでいる姿や食べ方を知らないことが多いので、食育の現場にも取り入れていくべき」、「一次産業として農業と漁業が一体となった取り組みが必要」との発言があり、戎本組合長らと意見を交わしました。



現在の水産業を伝える良い機会となりました



質問に答える戎本組合長

JA グループ兵庫

TPP 交渉妥結許さぬ ～国会決議厳守を～

JAグループ兵庫の役職員など18人は昨年12月3日(火)、日比谷野外音楽堂(東京都千代田区)で開催された「TPP 決議の実現を求める国民集会」に参加しました。JAグループ等の9団体でつくる実行委員会が主催し、農林漁業者や消費者ら3,500人が参加しました。

年内妥結を目指す米国は日本に対し、重要品目を含めた自由化を迫る強硬姿勢を鮮明にしています。昨年の12月7日(土)からシンガポールで開かれたTPP閣僚会合を前に、コメなどの重要品目を関税撤廃の対象から除外することなどを求めた国会や自民党の決議を厳守するよう求める決議を採択しました。厳守できない場合は交渉から脱退することなどを求める声が相次ぎました。

集会後、国会周辺をデモ行進し、強い危機感のアピールと国民への十分な情報提供などについて訴えました。



「TPP 決議の実現を求める国民集会」の様子

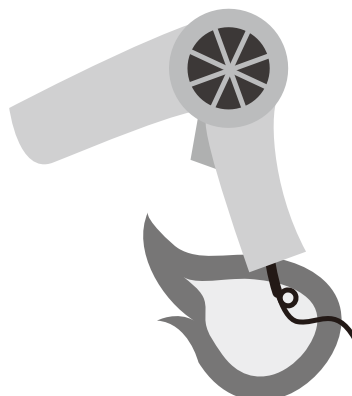


デモ行進をする JA グループ兵庫の役職員等



最近の消費生活相談事例

ヘアドライヤーのコードから火花



事例

ヘアドライヤーを使用中、本体コードの取り付け部から「バン!」という音とともに火花が飛んだ。約8年前に購入したもので、保管の際は本体にコードを巻き付けていた。ヘアドライヤーの取り扱いや保管方法について、注意する点を教えてほしい。

【アドバイス】

2009年度から県内の消費生活相談窓口寄せられたヘアドライヤーに関する相談のうちの、約7割が本体のコード取り付け部からの火花等の安全性に関する内容で、火傷を負ったり、着衣や洗面台、床等を焦がしたケースもあります。

苦情品を確認したところ、コード内部の銅線が一部断線しており、銅線が溶けていました。ヘアドライヤー本体とコードの取り付け部に、ねじる、曲げる、巻き付ける等の負荷が加わったことが原因で、内部の銅線の一部が断線し、電気抵抗が大きくなり、異常に発熱した結果、コードの被覆が溶け、むき出しになった銅線が接触し短絡（ショート）したことが考えられます。

ヘアドライヤーは定格消費電力が概ね1200W（ワット）と大きく、本体とコードの取り付け部等に負荷がかかると、内部の銅線の一部が断線し、異常に発熱した場合、火花が飛び、思わぬ被害にあうことがあります。

ヘアドライヤーの取り扱いについては、次の点に注意してください。

- ①使用中に、「電源が入ったり切れたりする」、または、「コードの一部だけが熱い」等の不具合がある場合は、コード内部の銅線が断線している可能性があるため、直ちに使用を中止する。
- ②プラグを抜く際はコードを引っ張らず、プラグ本体を持って抜く。
- ③使用した後は、コードのねじれを戻し、収納時には本体にコードを巻き付けない。

（兵庫県生活科学総合センター）

MOVE

2013年度『兵協連だより』通信員・広報担当者 研修会

日時：3月26日(水) 15時00分～17時00分
場所：兵庫県民会館 3階「304」

お申し込みは
先着順 20名

*定員になり次第締め切ります。

テーマ：「情報のわかりやすい伝え方」

講師：宇川 聡氏 (読売新聞大阪本社広報宣伝部教育担当)

「文章」の書き方などに悩んだことはありませんか？実務に生かせるワーク中心の講義と、ご参加のみなさまの広報物についてのコメントもいただきます（事前に広報物をお送りいただきます）。

対象者：会員生協『兵協連だより』通信員および広報担当者

一部内容が変更になる場合があります

お申し込み・お問い合わせ：兵庫県生活協同組合連合会（担当：中尾） TEL：078-391-8634

2013年度ひょうご消費者セミナー

～落語で学ぶ、だまされないコツ～

消費者セミナーとして6回目を迎える今回は落語家の林家染二さんをお迎えします。最近の悪質商法のさまざまな手口を紹介。笑いながら、だまされないコツを学びます。また、適格消費者団体からは、これまでに取り組んだ事例や新しい制度（「集団的消費者被害回復制度」）について報告します。

◆と き：2014年3月3日(月) 午前10時～12時

◆と ころ：兵庫県民会館 11F パルテホール
神戸市中央区下山手通4-16-3 (JR・阪神 元町駅より徒歩10分、地下鉄 県庁前 すぐ)

◆内 容：＜講座・落語＞ 三代目 林家 染二 さん

大阪市出身。三代目染二を襲名後、上方落語会で初めて、文化庁芸術祭演芸部門優秀賞を2度受賞。滑稽噺、芝居噺、人情噺と幅広いレパートリーを誇り、次代を担う正統派として注目されています。

＜講 座＞ [知ってビックリ！知って安心！愉快な悪質商法撃退講座]

＜落 語＞ [かわり目 悪質商法版]

＜活 動 報 告＞ ☆NPO法人 消費者支援機構関西 ☆NPO法人 ひょうご消費者ネット

◆参加費：無料（定員150人。※兵庫県生協連は20人募集します。お早めにお申し込みください）

◆託児あり（1歳半～未就学児）：無料

◆締 切：2月20日(木)※定員になり次第締め切ります

◆申し込み方法：兵庫県生協連組合までFAX・お電話でお申し込みください（FAX：078-392-2059 電話：078-391-8634）

◆主 催：コープこうべ、消費者支援機構関西、ひょうご消費者ネット、兵庫県生協連組合

◆後 援：兵庫県・神戸市

県連日誌

2月3日(月) 兵協連第5回理事會

2月12日(水) 兵協連第4回生活問題研究会 (県民会館 1201)

2月18日(火)～19日(水) 兵協連第12回税務・経理講習會 (県民会館 1202)

2月20日(木) 兵協連第3回大学生協部會 (大学生協神戸會館)

2月21日(金) 兵協連第3回共済生協部會 (県民會館 ばら)

編集後記

シヨコラの香りの季節。「LOVE」感謝「自分への褒美」等々。手作りキットや限定品の菓子は、カワイイ♪パッケージとともに街にあふれています。☆10代の頃、初めての「シユークリーム」作りにはチャレンジしたときのこと。ポウル一杯のカスタードクリームを作り、次にシユー生地をオーブンに入れて、焼きあがるのをジッと見つめていました。カリカリサクサクのシユー生地ができました。が、あゝ(汗)……ちなみに出版のなかつた、たつぷりのカスタードクリームは食パンにつけて美味しく(?)いただきました。それは以降、やっぱりシユークリームはシヨークーリスの中から選ぶことになっていますが、ぜひ！またチャレンジしてみたいと思っています。(中尾)

